

神戸市保健医療審議会 第1回保健医療計画専門部会 議事要旨

1. 日時 平成27年8月21日(金) 午後2時～午後3時32分
2. 場所 市役所2号館2階2022会議室
3. 議題 (1) 保健医療計画の進捗管理について
(2) 今後のスケジュールについて
4. 議事
 - ・開会
 - ・委員紹介
 - ・議題

(1) 保健医療計画の進捗管理について 資料4・資料5

○事務局

1. 市民生活の視点に立った疾病の治療や予防の推進について説明

○部会長

ピアサポーター、認知症サポート医、認知症地域支援推進員など、市民や医師に特別な役割を担っていただけるように教育を着実にできており、細かく施策を展開していくのになかなかいい方法だと思う。細かく専門の教育を受けた人を養成しているというのは、神戸市の一つの特徴ではないかなと思う。高度医療については、市民に対して啓発をしていこうという姿勢が非常に出ており、昨年から比べると進歩した。

○委員

検診の受診率は神戸市が実施した検診の受診率か。がん検診も含まれているのか。

○幹事

がんの検診は市の検診制度だけではなく、人間ドックなども含めて、市民アンケートや国民生活基礎調査で、がん検診を受けたと答えた方の結果に基づく受診率である。

○委員

がん検診を全く受けない人についての調査もしているのか。全く受けてない人たちをどうするかというのが大きな課題ではないかと思う。

○幹事

受けていない方の把握まではしていない。全然受けていない方に関する統計はないが、未受診者に対して受診勧奨をしている。

○代表幹事

現在、がん検診台帳システムの整備をしているところで、これにより経年で受診したかどうか、検診種目別に積み重ねし、全く受けていない方にターゲットを絞った受診勧奨をすることを予定している。

○部会長

「がん検診台帳システム」という言葉が突然出てきており、読み手には何かよく分からないので、注釈をつけるよう要望する。

○委員

資料5の2ページの高度医療のところ「高度医療の臨床応用については、医療の安全・安心を確保した上で実施していく必要がある。」とあるが、先端医療で医療上の死亡ケースが頻発したことに対して、問題があるのではないかと学会から指摘されている。説明をもう少ししていただきたい。報告書にあるように「医療の安全・安心を確保した上で」とあるが、先端医療はある種、ハイリスク・ハイリターンの治療で、通常のものとは異なった種類の治療であるのではないかなと思う。そのあたりを市民に向けて積極的な情報提供、アカウンタビリティをお願いしたい。

○部会長

高度なレベルの医療について、医療の安全というのをどう考えるべきか、記述を深めてもらえればと思う。

○委員

こういう計画の進捗状況にどう書き込むかというのは、非常に難しいと思うが、ハイリスク・ハイリターンというのが高度医療だというのは違うと思っている。今までできなかったことができるようになってきたとかいうようなことが高度医療である。今回の肝移植に関しては、技術的には比較的安定してきて、全国では年間に何百例と行われている治療方法だが、まだそれくらいの状況であり、どういう患者さんを治療するかどうかということが、非常に判断基準が難しい。結果として、多くの方が亡くなっているという状況になっている。医療の安全、技術、水準は維持していかなければならない。それをどう書き込むかは検討をさせていただきたい。

○保健福祉局長

高度医療をいかに安全にやっていくか、市民に情報提供していくかというのは、非常に大事な問題であり、平成 27 年度に保健所の専門家を入れた調査やその結果公表を行った。来年度はそれを含めてどう評価するか記載したい。

○副部長

当の病院が開院されたのが平成 26 年 11 月で、その時点からいろいろ事例としては問題があり、明るみに出たのが 27 年度である。神戸市医師会としても兵庫県医師会と連名で要望書を出しているが、正式な回答はいただいている。神戸医療産業都市の中の高度メディカルクラスターの位置づけの中でこのケースは特殊な例であると考えている。神戸の医療産業都市を推進していくためには、これを完全にクリアした上でないといけない。実際に当の病院が今後どうされていくかは、はっきりしたところがわかっていないが、この懇話会の評価においても何らかの文章を入れていただきたい。神戸市民や外部から見ても納得できるような状況で進めていかないと、周りの同じような高度医療専門の医療機関が迷惑するということにもなりかねない。十分に考える必要がある。やはり、平成 26 年度の報告に何らかの文章を入れていただきたい。

○委員

市民に対して情報提供を積極的にしてその判断を仰ぐということも、我々の役目だと思う。情報提供をしていくという姿勢を書き込ませていただきたい。

○部長

群馬大学の腹腔鏡の問題や千葉県がんセンターの問題など、高度医療というのを推進していくというのは、非常にいろんな問題が起こる。保健医療計画の進捗状況の中で、どう記述するか検討していただきたい。

○事務局

2. 市民の安全な暮らしを守る医療体制づくりについて説明

○部長

周産期だけなぜ三田市が入っているのか。三田市在住の方に対する周産期医療については、三田市だけでは対応できそうにないということで、神戸市に乗っかっているということか。

○代表幹事

そういうことである。

○委員代理

地域クリティカルパスとか5疾病におけるクリティカルパスの進捗は、実際はどの程度の活用状況なのか。

○委員

市として関係を持っているのが、脳卒中に関する連携パスのみで、脳卒中については、神戸市とその周辺で60カ所ぐらいが連携して急性期から回復期の連携をつくっており、医師会の先生方も役員には入っていただいているが、在宅医療まではつながっていない。何人がどう動いていったかというのは、神戸市も情報共有させていただいている。がんに関しては、兵庫県だと明石市にあるがんセンターが中心になって、連携パスを各病院と運用していただいているが、その実態を把握しているわけではないが、市民病院などから情報を聞きながら、連携ができているかどうかの感を把握している程度というのが現状である。

○部会長

クリティカルパスというのはそもそも病院の仲間内の話で、イギリスがこのクリティカルパスの先進地であり政府はほとんど関与していない。神戸市でも、各医師会レベルとか、その治療に当たる人たちの中で、そういう取り決めをやっており、それについて、保健所とか市がどれくらい関与するかというのは疾病の性質による。医療の中身に市が介入するということは基本的にあってはいけないことだが、現状の把握については勉強をするというか、検討課題ということをお願いしたい。

○事務局

3. 保健・医療・福祉の連携による在宅医療の充実について説明

○部会長

おおむね順調に推移しているという事務局の評価であるが大体そうかなと思う。

○事務局

4. 市民の健康を支える地域保健対策について説明

○委員

事務局評価で「何々していく必要がある」というふうに評価されているが、実際にそういう評価をされた上で、今年度は何をしているかということに記載されたらどうか。

学校保健で「性に関する学童期・思春期対策の推進に取り組んだ」とあり、母子保健も思春期デリバリー授業や、安心・安全な妊娠・出産とあるが、LGBTなど新しく認知されてきた問題を学校保健の中でも考えたほうがよいのではないか。いじめや不登校にもつながったり、場合によっては自殺というようなことになったりする。学校保健の中での妊娠・出産だけじゃなくて、医療的な観点でLGBTに対応していくということについて、計画には書いていないが、別に文言でどうこうということではなくて、こういうことを踏まえて、今やるべきこととして考えていただきたい。

○部会長

進捗状況の事務局評価として「必要である」で終わってしまうのは、何となく物足りないというのは、そのとおりでと思う。LGBTなどの新しい性の問題について、どこまで世界的な動きと理解しているのかわからないが、恐らく、教育のほうでどう対応していくかというのは、非常に大きな問題だろうと思う。

○代表幹事

平成 27 年度は既に予算をつけて、取り組みかけているものの中にはあるので、そういうふうに意識して記載していきたい。

○幹事

時代の変化の中で最新の情報を仕入れて、適切に取り組まなければならないと思っている。学校現場で子どもたちがどういう状況にあるのか、保護者の心配していることは何なのか、より新しい問題について、保健福祉、医療機関、学校保健で連携して考えていきたい。

○委員

アメリカが毎年、世界の各国の人権の状況という報告を出しており、日本は評価が高い方だが、日本は性的マイノリティに対する人権の保障というのが十分でないと明記されている。人権を守る先進都市神戸として、LGBTの子どもたちに対する取り組みを早急に進めていただきたい。

○事務局

5. 健康危機管理対策の充実強化について説明

○委員

昨年のインフルエンザの予防接種は、接種したタイプと実際に流行したものが違ったが、整合性についてはどう評価しているのか。

○委員

ワクチンについては、WHOを参考にして国が決める。インフルエンザワクチンが合っていたかどうかという評価は国レベルで行い、次のワクチンの設定にその評価を生かすという仕組みになっており、国が昨年の評価をしていると思われるがこの場では分からない。また、昨年度の冬は、流行のピークが冬休みの一週間の間に来た。冬休みのように医療体制全体が少なくなっているときに来るようであれば、保健所として、流行が早いとか遅いとかいうことも含めて、医療機関にお知らせできるようには考えていきたい。

○部会長

インフルエンザを予測して対応を考えるのは難しく全世界的な問題である。インフルエンザに対して、対応を怠りなくやっていくということであろうと思う。MERSについて、何も書いてないが、MERS対策についても考慮に入れていただきたい。

○副部会長

神戸市医師会、神戸市とも啓発の市民向けのポスターを作成しているので、平成 27 年度の評価の中には記載されると思う。

○幹事

MERS だけではなく、他の 1 類、2 類の感染症など今後も脅威となる感染症が発生するおそれがある。課題にもあるが、新しい感染症にも臨機応変に対応できるよう、健康危機管理基本マニュアルを見直していく。

○部会長

全般について、ご意見、ご質問があればお願いします。

○委員

集団健診が非常に重要だと思うが、受診率が少ないところに問題がある。文章の中に、集団健診を何%ぐらい受診したというのをに入れていただいたら、少ないのがはっきりわかるので、皆さんにも非常に分かりやすいと思う。

○代表幹事

がん検診と特定健診では、指定をさせていただける機関が違うため、割合が違うが、特定健診では、集団健診は6割ぐらい、個別での検診が4割ぐらいとなっている。がん検診は、セット健診のように集団でやっている場合や肺がん検診などのように指定医療機関で実施しているものがあり、割合を表示することは可能であり、検討させていただく。

○委員

地域包括ケアというのを打ち出しているが、私の地域では5月に認知症の見守り隊というのを立ち上げた。また、がん検査を地域の中で世話をする人がいて、検診を勧めており、これも地域包括ケアの一環と思うが、具体的に進めるということについてはどう考えるか。

○代表幹事

以前、住民健診を実施していた時には、自治会等に協力いただきながら、尿検査のバックを各戸に配布いただき、健診受診率の向上に協力いただいた。現在は検診が保険者単位になっており、地域で実施（お世話）されているのは本当にまれであるが、一緒にやっていくという仕組みは望ましいと思っている。現在の体制の中で検討させていただきたい。

○委員

2点だけ、要望させていただく。一つは、文言で、資料4の3ページの「自殺未遂者支援者への支援」日本語として、わかりにくいので、市民が読んでいただけるということを前提に文言の整理をしていただきたい。

難病患者への支援については、計画策定時から制度が変更しているので、それに伴ったフォローアップ、患者さんや医療機関への周知を徹底していただきたい。

○幹事

先ほどご質問のあった地域連携パスについてだが、市民病院機構が毎年度取り組む年度計画の中で、中央市民病院は、5大がんの兵庫県統一地域連携パスを活用すること、脳卒中地域連携パスのさらなる活用を図ること、急性心筋梗塞連携パスの実施に向けた検討を行うこと、糖尿病地域連携パスはK O B E D M n e t、神戸糖尿病地域連携パス協議会に参加してパスの運用に取り組むとしている。西市民病院は、糖尿病地域連携パスの運用において、地域連携機関との連携を図ること、認知症に関し

て神戸市長田区認知症連携パスの運用を継続することとしている。今後、これらの取り組み状況の報告なども検討していきたい。

○部会長

その中身について、どういう進行状況なのかをもう少し詳しく知りたいので、勉強していただきたい。

自殺対策については、京都府で自殺予防条例がつけられたり、認知症についても、認知症の方をどうやって発見するかとか、新しい試みがあったり、新しい制度ということ言えば、医療事故調査会が病院の中で法律に基づいたものが立ち上がってくるとか、専門医制というのが動き出している。ということで、保健医療計画も5年間がっちり固まったものではなくて、少しずつ改革をしていくような、そういう柔軟な気持ちで、この進捗状況の評価を進めていくのが大切ではないかと思う。

(2) 今後のスケジュールについて 資料4

○事務局

本日、保健医療計画専門部会において、事務局報告に基づいて、計画の進捗状況の確認作業を行っていただいた。今後、保健医療計画審議会において、専門部会から、計画の進捗状況の報告を行うこととなっている。なお、現在、二次医療圏ごとに地域の医療供給体制のめざすべき姿をつくる、地域医療構想、いわゆる地域医療ビジョンについて兵庫県の主導で検討が進められている。本市においても神戸圏域の部分について内容を検討するため、有識者会議を立ち上げ、内容の検討を進めている。保健医療計画も、この地域医療ビジョンとの整合性図りながら、計画を推進していきたいと考えている。

○部会長

そういうことで進めていただきたい。本日の会議はこれで終了する。

・閉会